

2026年度 春期キリスト教教育強調週間

日時：2026年6月16日（火）10時40分～

場所：酪農学園大学黒澤記念講堂

聖書：ヨハネによる福音書9章1-5節

主題：「二人の知的障がいの息子を授かって

——出会いは必然と考える方が積極的な生き方ができる」

講師：義平大樹先生（循環農学類作物学研究室教授）

今回の強調週間では、ヨハネ福音書9章1-5節の「生まれつき目の見えない人の癒し」の物語を通して、義平先生のかげがけのない出会いであるお二人の息子さんとの出会い、学内のクリスチャンの先生たちとの出会い、そして今回の強調週間の聖句でもある聖書との出会いについてお話しいたします。



1965（昭和40）年、神戸生まれ。博士（農学）。北海道大学大学院農学研究科修了。北海道農業改良普及員を経て、1992（平成4）年から酪農学園大学に卒業。2009（平成21）年に教授。米、豆、豚、とうもろこしの栽培研究を専門とする。また、農機連携の普及に力を注ぎ、2014（平成26）年に五知農機連携推進会を結成。2018（平成30）年6月に「一般社団法人けんけい」を設立し、代表となる。（大学の実験室で撮影）

View Point

農業と福祉のコラボで共生社会実現を

酪農学園大学 農食環境学群 循環農学類 作物学研究室 教授

義平 大樹

